○ケフレックスカプセル　[内]

【重要度】★★　【一般製剤名】セファレキシン（CEX）（U）　Cephalexin　【分類】経口セフェム系抗生物質［第１世代］
【単位】▼250mg/Cap
【常用量】１回250mgを6hrごと［重症の場合１回500mgを6hrごと］（成人および体重20kg以上の小児に対する用量）
つまり，1000～2000mg/日
【用法】１日４回
【透析患者への投与方法】PKからは１回250mgを１日1～2回であるが常用量の最大値2000mgから考えると，フォーカスに応じ750～1000mg/日の適用も可と思われる（5）
【その他の報告】通常量を48～60hrごと（1）250～500mgを12～24hr毎でHD後に追加投与（17）
【PD】250～500mgを12～24hr毎（17）PD腹膜炎に１回250mgを１日２回（12）
出口部およびトンネル感染に１回250～500mgを１日２回［ISPD GL 2023］（Chow KM, et al: Perit Dial Int 2023　PMID: 37232412）
出口部感染に１回500mgを１日２回，14日間以上［20.1±8.7日］治療は有効で安全に治療可能であった（鈴木大介，他: 日腎薬誌 5: 3-8, 2016）
【CRRT】静注セファロスポリンを選択（17）
【保存期CKD患者への投与方法】Ccr＞50mL/min : 250mgを１日４回，Ccr 10～50mL/min : 250mgを１日1～3回，Ccr＜10mL/min : １回250mgを１日１回（5）
【その他の報告】通常量を以下の投与間隔で4＜Ccr＜15 : 24hrごと，15＜Ccr＜30 : 8～12hrごと，30＜Ccr : 6hr（1）
Ccr＞50mL/min : 0.25～0.5g/8hr，Ccr 30～50mL/min : 0.25～0.5g/12hr，Ccr 10～30mL/min : 0.25～0.5g/24hr，Ccr＜10mL/min : 0.25～0.5g/24hr（7）
Ccr 50mL/min以上 : 常用量を6hr毎，Ccr 10～50mL/min : 常用量を6hr毎，Ccr 10mL/min以下 : 常用量を8～12hrおき（3）
Ccr＞50mL/min : 常用量6hr毎，Ccr 10～50mL/min : 常用量を6～8hr毎，Ccr＜10mL/min : 常用量を8～12hrおき（10）
GFR 50mL/min以上 : 常用量を8hrおき，GFR 50mL/min以下 : 常用量を12hr毎（12）
GFR＞50mL/min : 250～500mgを6hr毎，GFR 10～50mL/min : 250～500mgを6～8hr毎，GFR 10mL/min未満 : 250～500mgを12～24hr毎（17）
【特徴】第１世代セフェム経口剤．細胞壁合成阻害により殺菌的抗菌力を示す。黄色ブドウ球菌、表皮ブドウ球菌、連鎖球菌（腸球菌を除く）、肺炎球菌、大腸菌、クレブシェラ属、プロテウス・ミラビリスに抗菌力を示す.
【主な副作用･毒性】ショック，アナフィラキシー，AKI，偽膜性大腸炎，SJS，TEN，間質性肺炎，PIE症候群など
【モニターすべき項目】出血時間、プロトロンビン時間、便検査（偽膜性大腸炎をチェック）
【吸収】胃では吸収されない．食物との同時服用で吸収は遅れCmaxは低下する（11）
【F】80～100%，初回通過効果を受けない（11）90%（13）95%（U）
【tmax】1hr（1,11）
【代謝】代謝されない（1）
【排泄】尿中未変化体排泄率91%（1,11,13）98%（12）
【CL】4.3mL/min/kg（13）【腎CL】214mL/min（Brogard JM，et al: J Clin Pharmacol 15: 666-73,1975）
【t1/2】0.9hr（13）0.7hr（12）【透析患者のt1/2】8.47hr（Brogard JM,et al: J Clin Pharmacol 15: 666-73,1975）16hr（12）【PD患者のt1/2】8.6hr（Bunke CM,et al: Clin Pharmacol Ther 33: 66-72,1983）
【蛋白結合率】約15%（1,11）14%（13）20%（12）
【Vd】24L/man（1）0.26L/kg（13）24.3L/man（1）15L/man（11）0.35L/kg（12）
【分布】脳脊髄液への分布は不良だが、膿には速やかに全血濃度と同じ濃度で分布する。胆汁中へ移行は1g投与で3μg/mLだが濃縮されて胆嚢では21μg/mLになる（11）
【MW】347.39
【透析性】除去率50%（1）HDクリアランス25mL/min、除去率50～75%，CAPDクリアランス2.29mL/min（Lam YW，et al: Clin Pharmacokinet 32: 30-57,1997）
透析時半減期は8.6hrなのに透析液に回収される量は10%のみであるため、他の除去経路が考えられる（11）
【TDMのポイント】TDMの対象にならない【O/W係数】低い（11）0.14［1-オクタノール/水系，pH7.2］（1）【pKa】5.2，7.3（1）
【相互作用】アムロジピンにより吸収増大（Ding Y, et al: J Clin Pharmacol 53: 82-6, 2013 PMID: 23400747）
【主な臨床報告】セファレキシンはセフジニルに比べて尿路感染症治療効果は同等で，治療失敗例は少ないかもしれない（Lloyd A, et al:　Am J Health Syst Pharm 2024 PMID: 38349523）
【更新日】20240215

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。
※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。